

第 9分科会 「自立と共生」「社会との連携・協働」

研究主題 特別支援教育の推進及び学校・家庭・地域との連携・協働と学校段階等間の 接続・連携の推進

〔趣旨〕

今日、学校においては、子どもが障がいの有無にかかわらず共に生活する中で、分け隔て無く相互に人格や個性を尊重し合う教育が求められている。とりわけ、特別な支援を要する子どもに、その教育的ニーズに応え、将来の自立に向けての基礎を培っていかなければならない。校長は、このような「自立と共生」の社会づくりにおける学校の役割の大きさを自覚するとともに、新しい価値を生み出すという発想を持ちながら、カリキュラム・マネジメントの確立や校内支援体制の整備、地域の医療・福祉といった関係諸機関との連携などを、より一層充実させていくことが求められている。

また、社会が大きく変化する中で、地域においてはつながりの希薄化による家庭や地域の教育力の低下が指摘されている。一方学校は、いじめや不登校、特別な支援を要する子どもの増加等、子どもを取り巻く問題がこれまで以上に複雑化・困難化しており、学校だけの解決が難しい状況に立たされている。

主体的に地域に関わろうとする子どもの育成並びに生徒指導上の課題へ対応するためには、学校・家庭・地域等が一体となった地域基盤を再構築することが求められている。さらに、「小1プロブレム」「中1ギャップ」と呼ばれる保・幼・小・中学校間の接続上の課題も依然として存在する。

校長は、異校種間のスムーズな接続を図り、幸福な人生の創り手としての資質・能力を身に付けられるようにするために、学校段階等間の接続・連携をより一層推進する必要がある。

本分科会では、校長のリーダーシップの下、子どもの自立を図るための特別支援教育、及び子ども一人一人の将来を見据え、家庭・地域等との連携や異校種間の円滑な接続を推進するための具体的方策を明らかにする。

《 協議題 1 》 子どもの自立を図る特別支援教育の推進

《 協議題 2 》 家庭・地域等と連携し、充実した教育活動を展開できる学校づくりの推進

【本年度提案：福岡県】